

公表日

2026年 2月 20日

事業所名

こぼんはうすくら 根戸教室

保護者等数(児童数) 30名 回収数 20件(割合65%)

	チェック項目	はい どちらともいえない いいえ わからない				ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない			
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	4		1	スペースは、確保されていると思います。	お子様が人数が多い時には、お部屋を分けてスペースの確保をしていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12			7	お迎えに行くといつも職員さんが多いので配置数は適切だと思います。	お子様の利用人数に合わせて職員を配置出来るようにします。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	3		4	構造化された所で配置がされています。	お子様が飛び出さないように、柵を付けたリ、トイレにも柵をつけています。今後必要に応じて設備を整えられるように検討します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	14	3		4	清潔に保たれています。	利用者さんが登所前・登所後掃除を必ず行っています。活動内容により、お部屋を使い分けています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18			2	息子の特性に応じ、配慮されています	保育士・児童指導員・理学療法士の職員が多く在籍しているので、相談しながら支援を行っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18			2	支援プログラムは支援内容と合っています	
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14			1		保護者様と面談を行い、その内容を元に個別支援計画を作成出来るように努めます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16			4		「本人支援」は5領域を元に考え、「家族支援」「移行支援」の内容も保護者様に分かりやすく提示していきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19			1		ミーティングで支援計画の情報を職員して話合っています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	3		3	いろいろな活動を工夫されていると思います。	毎月、いろいろな活動を職員同士意見出し合い、考えてくれています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1	4	12		保育所等訪問や幼稚園の先生にこぼんはうすの様子を見に来ていただいたり、こぼんの職員も幼稚園に様子を見に行かせてもらっています。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	2		1	契約時にきちんと説明がありました。	相談室や玄関に運営規定や支援プログラムなど掲示しています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	1	1	3	十分な説明をされました	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	3	5	8		家族等が参加出来る研修会など行っていないので、これから機会があれば、企画して情報提供していきたいです。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	18			1	引き渡し時や連絡帳に伝えて頂いています。	必ずリズムにその日の様子を記入し、お子様の様子を保護者様に引き続き伝えていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	1			メールやお電話で相談させてもらっています	困り感や相談があれば個別に対応させて頂いています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	1			子どもがたくさん職員さんの話しをしてくれるので支援されていると思います	ミーティングや教室のツールで情報共有しています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	5	7	7	特にわかりません	機会があれば検討していきたいです。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	1		1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20					リズムや送迎時に保護者様が職員に話しやすい環境を整えていきます。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	3	4	お便りや活動を写真を頂いています。	2ヶ月に1回お便りを作成して配布しています。行事ごとにブログの更新も行っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	1	2	されていると思います。	アセスメントも持出など、禁止と職員に周知しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	4	3		事業所では、マニュアルを使用しミーティングを行い、発生を想定して職員同士情報共有しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	2	3		毎月一回、火災・地震・不審者などの避難訓練を行っています。お子様に分かりやすいようにクイズ形式にしています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	1	1		月に一度、安全計画を元に訓練・点検を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	2	3	小さな怪我也連絡帳に記入してあります。説明あります。	メールや電話・リムに状況を報告させて頂いています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20			帰って来ると「楽しかった」と話してくれます。	安心して通えるように環境を整えます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	3		いつも「明日ごぼん？」と聞き楽しみにしております。	明るい職員が多く、良い雰囲気なのが教室の良い所です。楽しい時間を過ごせるように環境を整えます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19			とても満足しています。	満足していただけるように職員一同取り組んでいます。

公表日

2026年2月20日

事業所名

こぼんはうすくら 根戸教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	狭い空間をうまく工夫しています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1		曜日や子供の実態よって職員の数がもう少し必要と思うことがある。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	トイレに手すりをつけて対応を行っています。	放デイの施設用に建てられた建物ではないので適切とはいえない。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		職員は、日々掃除などに取り組んでいます。	可能であれば、各お部屋に空気清浄機を配置してほしい。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	3		怪我防止の為、引き戸が望ましい。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	1	2	職員さんたちは、意識して取り組んでいます。終礼などで情報を共有しています。	滞在時間が短い時間的に難しいところもあります。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1		頂いたご意見を参考にし、業務改善に努めます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		個々に面談を行い、ミーティングでも困り感や改善したら良いことを話し合っています。	引き続き、ミーティングを行い、意見交換を行いたい。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3		機会があれば、外部にお願いして業務改善に努めていきたいです。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		外部の研修に申し込み、オンラインなどで参加しています。	外部の研修に申し込み、職員たちに研修の機会を増やして生かす予定です。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		支援プログラムを作成し、公表しています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		面談を行い、ニーズをお聞きしたりして支援計画書を担当者が作成しています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		ミーティングなどで話し合っています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1	担当者が行っています。	支援内容をミーティングなどで職員間で周知していきたいです。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		担当を決めて、話し合いを行っています。	引き続き、担当を決めて行なっていきます。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		4事業所で会議を行い、活動内容を共有し意見交換を行っていますし、教室でもアイデアを出し合い合っています。	今後も子どもがより楽しめる内容を職員間で話し合っていきます。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		開始前に1日の流れを当日の職員同士話し合い、ホワイトボードに記入して共有しています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3	職員の勤務時間がバラバラの為、お子様の様子や連絡事項はチャットワークを活用し共有しています。	片付け・掃除・次の日の準備等で時間がなく、なかなかできていないので連絡ツールを使いながら情報を共有していきたい。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		利用時には、個々に経過を記入しています。	引き続き、経過の記入を行い、支援の改善に繋がっていきます。

適

切 な 支 援 の 提 供	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	2	担当者が行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5	1		「4つの基本活動」を把握し、職員間で話し合い支援を行なって行けるように改善していきます。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		学校へ送迎時の受け渡しの際に学校の様子など報告を受けています。	行われているが、学校での様子をもっと参観できる機会を設けたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		学校の先生が事業所に見学に来てくださり、普段の様子を見てもらい、情報を共有しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1		児発はスーパーアドバイザーを利用していますが、放デイも利用出来るようにしていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2		機会があれば、検討したいです。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3		機会があれば、参加したいです。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時やメールなどで保護者さまから困り感などがあれば相談にのり、職員みんなで共有しチャットで共有しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1		
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に担当者が説明を行なっています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		担当者が説明を行なっています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		リムや送迎時に保護者様とやりとりを行いアドバイスを行なっております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	2		機会があれば、検討していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		苦情を情報を共有し、担当者が適切に対応を行っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		2ヶ月に1回、お便り（こぼりだより）を作成し、ブログなどで活動の様子を載せて配布しています。	引き続き、お便り・ブログ等の更新・作成し配布を行なっていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		利用者さんのアセスメントは、持ち出さないように周知しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		色々工夫をして、日々尽力しています。	まだまだ出来ることは沢山あると思いますので取り組んでいきたいです。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	1		していません。機会があれば、検討したいです。
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3			保護者様にも周知出来るように何か考えていきたいです。	

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		安全点検・避難訓練を月1で行なっています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		保護者様にRiMに記載をお願いしております。職員間で連絡ツールを使い共有しております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		契約時に保護者様からお話しきちんと聞き、職員間で周知しております。おやつも別に用意しています。	医師から書面での指示書などを作成してもらい、職員間できちんと共有していきたいです。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		ヒヤリとした事が起きた場合、用紙に記入し、ミーティングで確認をしています。	こまめにミーティングを行い、同じ事が起きないようにしていきたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		外部の研修や事業所内で研修を行なっています。	引き続き、研修を行なっています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3		身体拘束を行う必要がある場合、その都度、保護者様と相談して対応を決めています。	今後、身体拘束を行わなければならない場合には、支援計画に記載し対応を行います。